

令和7年度（2025年度）江戸川区立清新第一小学校（算数）科 第（1）学年			
年間指導計画 及び評価規準			
【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ			
学年	単元名	評価項目	評価規準
1 学期	なかよしあつまれいくつぞう	【知技】	ものともとのを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。
		【思判】	観点に応じて、身のまわりのものの集合を捉えている。
		【主体】	数や形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		【知技】	10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。
		【思判】	数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。
		【主体】	数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
	なんばんばい/なんばんじ/いくつといくつ/ぜんぶでいくつ/このりはいくつ	【知技】	個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また、前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。
		【思判】	集合数と順序数を用いる具体的な場面に着目し、それらの違いを具体物や図などを用いて考えている。
		【主体】	数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		【知技】	日常生活の中で時刻をよむことができる。
		【思判】	時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。
		【主体】	時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
どれだけおい	【知技】	1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみることができる。	
	【思判】	数量の関係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。	
	【主体】	数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
	【知技】	加法の意味（増加、合併）や式について理解し、1位数+1位数で繰り上りのない加法の計算が確実に見える。	
	【思判】	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。	
	【主体】	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
2 学期	10より大きいかず/かずをせりして/かたちあそび	【知技】	減法の意味（求差）を理解し、式に表して計算することができる。
		【思判】	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。
		【主体】	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		【知技】	10程度までの数の数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。また、繰り上りのない2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。
		【思判】	数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、繰り上りのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考えている。
		【主体】	数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
	3つのかずのたしざん、ひきざん/たしざん	【知技】	ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを用いて数えたりすることができる。
		【思判】	データの個数に着目し、身のまわりの事象の特徴を捉えている。
		【主体】	数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		【知技】	ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。
		【思判】	ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。
		【主体】	身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
ひきざん/くらべた	【知技】	3口の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。	
	【思判】	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。	
	【主体】	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
	【知技】	10何-1位数で繰り下りのある減法の意味や計算のしかたを理解し、減法の計算が確実に見える。	
	【思判】	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。	
	【主体】	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	
3 学期	大きなかず	【知技】	長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接に比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを単位として、そのいくつかわかりやすく比べることができる。
		【思判】	身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。
		【主体】	身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		【知技】	2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小の順序を理解するとともに、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算ができる。
		【思判】	数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。
		【主体】	数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
	なんじなんぶん/どんなしきになるかな/かたちづくり	【知技】	日常生活の中で時刻をよむことができる。
		【思判】	時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。
		【主体】	時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		【知技】	順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。
		【思判】	数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。
		【主体】	数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
3	1年のまとめ	【知技】	ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。
		【思判】	ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。
		【主体】	身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		【知技】	第一学年の学習内容について、知識及び技能をみにつけている。
		【主体】	単元全体を通じて評価する。